

## モンゴルの子どもたちの“むし歯予防”を促進！

■ 実施団体：  
特定非営利活動法人  
健康都市活動支援機構

■ 対象国・地域：  
モンゴル国ウランバートル市  
チンゲルティ区

■ 現地カウンターパート  
チンゲルティ区役所



### ■ 協力内容：

1. 二つのモデル校で学校歯科検診の仕組みを確立（検診票・分析票の作成、検診マニュアルの作成、歯科検診の実施、結果データ分析等）
2. 学校歯科保健委員会を設立し、学校児童の口腔ケアの全体像を把握

### ■ 団体のこれまでの取り組み：

WHOが提唱する「健康都市」に賛同する世界各国の自治体（地域住民）を民間の活力で支援するため、国際支援事業、健康づくり事業、データヘルス事業、医療福祉施設整備支援事業等を国内外で推進している。

### ■ 事業実施の背景：

モンゴルは1990年代初頭から民主化と市場経済化が進み、急速な都市化により食生活も変化した。甘い嗜好品や柔らかい食品の摂取が増え、食事時間も不規則になる等、国民の食生活にも大きく影響。その結果、幼児や児童生徒（4歳～14歳）のむし歯有病率は実に「90%」と深刻な健康被害となっている。学校歯科検診も実施体制と仕組みが確立しておらず、子どもたちの口腔ケア対策は喫緊の課題となっている。

## モンゴルの課題と成果

**課題①：従来の学校歯科検診は、歯科の専門的知識を持たない学校医が口の中をざっと見て終わり…**

**成果①：地区保健センターの歯科医師を学校歯科検診に巻き込み、適切な検診の実施と結果の記録・分析を行う仕組みを構築（モンゴル初！）。**

**課題②：学校や家庭で、むし歯「予防」の大切さが認識されておらず、歯みがき習慣も定着していない…**

**成果②：モデル校に洗面台を設置し、歯みがき習慣を定着化。さらに「学校歯科保健委員会」を設立し、検診データを共有、学校や家庭でのむし歯予防啓発を促進中。**



## 事業の波及効果

！ “むし歯「治療」から、むし歯「予防」へ”  
モンゴル保健省の国家施策が始動！

本事業の取り組み・成果を参考に、歯みがき習慣の励行や検診体制の確立等、むし歯予防と口腔ケアを目的とした国家プロジェクトが、2024年7月より開始された。

！ “モデル校から、他校へ”  
自立発展的に成果や知見が波及！

モデル校の教員が地域の幼稚園へ近隣の学校に自ら出向き、歯みがき指導を行う等、自発的な知識の波及が進んでいる。